

梅原の子

Umehara Elementary School

梅原小学校 学校だより

令和6年 1月号

心を通わせ、安心して学べる学校に



世界の4大文明（エジプト・インダス・メソポタミア・中国）には、それぞれに優れた文字の発明がありました。最初は、大部分が絵文字からはじまりました。長い時間をかけて、文字ができていきました。その中で、使われなくなったものもありました。そうした中で、私たちが使っている漢字は、3000年以上にわたって生き続けています。

左の文字は、右手をあらわす古代文字が二つ重なったものです。これは、どんな漢字になったのでしょうか。

（梅原小学校の2学期は、この文字の紹介から始まりました。）

この文字は、「友」という漢字になりました。昔から、友達とは、困っている人に手をさしのべて助けてあげたり、握手をして心を通わせたりする人のことだったのでしょう。この文字を取り上げ、手をつないだり、目をあわせたり、言葉をかけたりして、心を通わせあうことをめざして取り組んできた2学期でした。

運動会、ゆう・友・ふれあいフェスタ、他の学校との合同学習、地域講師の方との食農体験、校外学習（6年生は宿泊を伴う研修が2回ありました）。すこし振り返るだけで、体験してきたことがいくつも浮かぶ2学期となりました。そのどれにも、人と人との心を通わせあいがありました。支えていただいた地域や保護者のみなさまのおかげ、梅原の地の絆の深さのおかげだと感謝しております。

梅原地区では、長きにわたって「自然豊かな環境を後生に」の思いをつなぎ、地域ぐるみで環境保全や食農教育の推進に取り組んでおられます。その取組は、「豊かなむらづくり全国表彰事業（東海ブロック）」（農林水産省実施）において、東海農政局長賞を受賞されました。

12月7日（月）に行われた賞状授与式に、梅原小学校の5年生6年生の児童も参加させていただく機会がありました。

《授与式に参加した児童の感想》



- ・岐阜県の代表で表彰されて、梅原は本当にすごいと思いました。
- ・今まで、サツマイモほり、大豆づくり、豆腐づくり、みそづくり、米づくり、餅つきなど、たくさんのことをさせてもらいました。思い出がいっぱいできてうれしいです。
- ・土井先生や JA 女性部のみなさんと作ったおいもやおみそ、おもち全校のみんなでいただいています。とてもおいしいです。